

はさま地域包括だより

登米市迫地域包括支援センター（迫総合支所内）

登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1

電話 0220-22-1152

FAX 0220-23-8623

これで
解決！

高齢者の消費者被害

撃退マニュアル8カ条！

訪問詐欺や悪質商法による被害は、適切な対応により防ぐことはできます！

①玄関のドアを開けない

顔を合わせて話を聞いてしまうと、なかなか断れないものです。インターホンなどで対応します。

②一人のときは対応しない

一人での対応は危険です。突然の訪問には、無視して対応しないことが一番です。

③服装や肩書で判断しない

服装や肩書きにだまされたという被害が後を絶ちません。家族などに相談しましょう。

④「借り」を作らない

「無料点検」などをしてもらおうと、断りにくくなります。はっきりと断りましょう。

⑤公的機関の職員を名乗る訪問販売はすぐ断る

公的機関の職員がお金を要求したら詐欺です。

⑥その場で契約しない

悪質業者は、すぐに契約書に印鑑を押させようとします。時間をかけて冷静に判断しましょう。

⑦遠慮せず「はっきり」断る

人の良さに付け込まうとってきます。勇気を持って、遠慮せずはっきり断りましょう。

⑧しつこい場合は警察に通報する

「警察に通報します」と言えば、ほとんどは帰っていきます。毅然とした態度で臨みましょう。

見守りチェックリスト

～地域社会全体で見守りすることが求められています～

家の様子について

- 家に見慣れない人が出入りしていないか
- 不審な電話のやりとりがないか
- 家に見慣れないもの、未使用のものがふえていないか
- 見積書、契約書などの不審な書類や名刺などがないか
- 家の屋根や外壁、電話機周辺などに不審な工事の形跡はないか
- カレンダーに見慣れない事業者名などの書き込みがないか

本人の様子について

- 定期的にお金をどこかに支払っている形跡はないか
- 生活費が不足したり、お金に困っていたりする様子はないか
- 何かを買ったことを覚えていないなど、判断能力に不安を感じることはないか
- 見積書、契約書などの不審な書類や名刺などがないか

★不安に思った場合やトラブルになった場合は・・・

消費者ホットライン（188「いやや！」）にご相談ください

短縮ダイヤル「188」をダイヤルすると、お近くの自治体の消費生活相談窓口をご案内します。

出前講座のご紹介

健康寿命を伸ばす取り組みのひとつとして、地域に出向き健康づくり・介護予防教室を開催しております。(講師料は無料です)

【認知症サポーター養成講座の様子】



宮城いきいき学園 登米・栗原校の皆さん

【講話(認知症について)の様子】



配食サービス事業ボランティア
研修会



北方小学校5年生
キャップハンディ体験

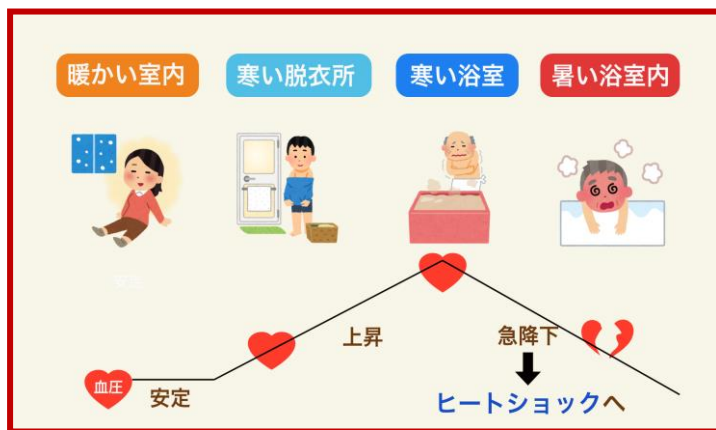
テーマ	内容(例)	時間
介護保険	介護保険制度や手続き、介護サービス内容 等	30~60分
介護予防	脳トレ、健康体操、口腔ケア、尿トラブル 等	30~60分
認知症	認知症の理解、予防、対処方法 等	30~60分
権利擁護	虐待、消費者被害 等	30~60分
地域包括支援センター	地域包括支援センターの役割について	30~60分
認知症サポーター養成講座	認知症はどんな病気なのか正しく理解し、認知症の方や家族を見守る「応援者」を養成する講座	90分

※上記以外でも希望講座がありましたらお気軽にご相談ください。申し込みは1か月前までをお願いします。

ヒートショックに要注意!

ヒートショックは、室温の急激な変化で血圧が著しく変動し、心臓や血管の疾患が起こることです。

入浴中に死亡する原因で最も多く、その数は交通事故の死亡者より多くなっています。特に高齢者は高血圧などの持病を抱える人が多いため要注意です。



5つの予防対策

1. 入浴前に脱衣所や浴室を温めましょう。
2. 湯温は41度以下、湯につかる時間は10分までを目安にしましょう。
3. 浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。
4. 食後すぐの入浴や、飲食後、医薬品服用後の入浴は避けましょう。
5. 入浴する前に同居者に一声掛けて、意識してもらいましょう。

迫地域包括支援センターは、介護・福祉・保健の専門職がチームとなり、地域で暮らす**65歳以上**の高齢者を支援します。来所相談、電話相談・訪問相談どんな方法でもどうぞお気軽にご相談ください。相談は無料です。

【営業日及び営業時間】

○営業日 月曜日から金曜日まで(土日、祝祭日は定休日)

○営業時間 午前8時30分から午後5時15分まで

※なお、来所での相談の際には、職員が不在の場合もありますので、事前に電話連絡を下さい。

